

日本キリスト教団 仙台青葉荘教会

## 週 報 (簡素版)

〒980-0012

仙台市青葉区錦町1丁目13-48 Tel 022-222-3855

2020年4月26日

復活節第3主日礼拝順序

説教：潮 義男牧師

前奏・黙禱

讃美歌 66

主の祈り

聖書 創世記42章29～34節

コリントの信徒への手紙13章4～7節

説教 「再会」

祈り 潮牧師

聖歌 505

祈禱(ネット配信を聴取されている方、及びこの週報で礼拝をされる方はお祈りください)

頌栄 543

祝 禱

従来の週報の簡素版を発行します。礼拝は録画してインターネットで配信します。本来ですと10時15分から11時30分の礼拝、そのうち説教は約30分程度ですが、ネットでの聴取のため15分程度に納めました。説教原稿全文(約30分程度)も同時に配信しています。ホームページをご覧ください。

一日も早く、新型コロナ・ウィルスの感染が収束し、自由に、喜びをもって礼拝が再開できるように祈りましょう。

主イエス・キリストの恵み、父なる神のご愛、聖霊の交わりの祝福がありますように

### 説教要約

前回(3月29日説教 歴史の転換点)、41章では監獄に入れられていたヨセフが、ファラオの夢を解き明かします。その結果、ファラオはヨセフをエジプトの大臣に取り立てます。大臣になったヨセフは、神が備えられた夢の解き明かしに示された通り、飢饉に備えて、豊作の間、穀物を備蓄したのです。

42章では、夢の予告の通りに、7年の豊作が終わり、飢饉がやってきました。しかし、この飢饉は、エジプトだけでなく、当時の全世界にまで及んだとあります。ユダヤにいるヤコブ一族も飢饉のために食べる物もなくなりました。そこで、ヤコブはこどもたちに命じます。エジプトに行つて、食べ物を確保するように。

#### 1. エジプトへ 夢の成就

1節を読みます。

そこで、ヨセフの10人の兄弟は、穀物を調達するためにエジプトに行きます。5節ヨセフの兄たちはエジプトに行きますが、そこではヨセフが待っています。6節エジプトにやってきた10人の兄弟は、穀物を買うためにヨセフに会います。大臣ともあろうヨセフがいちいち穀物を買いに来た外国人に会い、交渉することはないわけですが、ヨセフの権限で自由に外国人との謁見をしていたのだろうと考えられます。小さな隣国の羊飼いたちが超大国エジプトの大臣に謁見するわけですから、これは特別の榮譽、恵みと言ってもよいと思います。

#### 2. ヨセフと兄弟の再会

7節 ヨセフと兄弟たちは再会します。ヨセフは、兄たちとわかっているのですが、兄たちはヨセフとは気づきません。とっくに死んでしまったものと信じているのです。20年の月日が過ぎていきます。少年ヨセフは、大臣となり、威厳があり、一段高いところから兄たちを見下ろしていたのです。

本日の説教題は、「再会」です。ヨセフは、兄たちの罪を赦し、恨みを抱かず、復讐心もありません。兄弟愛のヨセフは神の摂理の中で、イスラエルと同胞を滅びより救おうとするのです。それが神のご計画です。長い、長い時間をかけた救いの計画です。そこに、ヨセフと兄弟たちの再会があり、父ヤコブとの再会(46章)があります。

翻つて、わたしたちも主イエス様との再会があるのです。この世では、眼には見えないけれども見ているように信じ、告白し、礼拝する。神の国に召されてから(死後)は、顔と顔を合わせるようにして、主イエス様を拝する恵みが備えられているのです。イエス様との再会ですね。イエス様は、わたしたちに対して、恨みもなく、無作法もなく、「あっち行け、お前は地獄行きだ」との宣告もなく、寛容さと、罪の赦しという恩寵にあつて天国にて迎えてくださるのです。神の民への特別の恩寵です。

新型コロナ・ウィルスの恐れから解放され、収束して礼拝が再開されるのが待ち遠しく思います。その時、わたしたちは仙台青葉荘教会の礼拝にて再会できるのです。